

2024年度（令和6年度）
豊中市立環境交流センター
事業報告書

特定非営利活動法人

とよなか市民環境会議アジェンダ 21

<目次>

1. 全体のまとめ	2
2. 施設の維持管理・運営体制	4
3. 管理運営業務の実施状況	
(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供	9
(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供	2 4
(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施	3 3
(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供	4 4
(5) その他	4 6
4. 施設の利用状況	4 7
5. 指定管理業務に係る経費の収支状況	5 1

【報告書内の表記について】

- ・参加者数に当団体の職員は含んでいません（注釈のある場合を除く）。
- ・当団体の会員とは、当団体で活動するボランティアの市民を意味しています。
- ・「3. 管理運営業務の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致しています。
そのため、事業計画に記載のなかった内容は、○としています。
- ・当団体の会計報告は、NPO 法の改正に伴い、活動決算書（活動計算書）となっておりますが、指定管理業務の経費の収支状況は、表題から当団体の活動計算書と意味が異なるため、収支決算書と記載しています。

1. 全体のまとめ

環境交流センター（以下、「センター」という。）は、地球温暖化の防止に資するとともに、循環型社会の形成を図る拠点として、また、環境学習を推進する施設として位置づけられています。

一方、指定管理者である特定非営利活動法人与なか市民環境会議アジェンダ 21（以下、「当団体」という。）は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように位置づけられている、“地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ 21」”（ローカルアジェンダ 21）を推進する組織として、豊中市域における持続可能な地域の実現をめざして、市民が主体となり、行政・事業者と連携して活動を行っています。

センターの事業目的は、地球温暖化の防止に資するとともに、循環型社会の形成を図る拠点施設として、また、環境学習を推進する施設として位置づけられており、当団体が推進する「豊中アジェンダ 21」の内容と完全に一致しています。センターの運営を通して、「第 3 次豊中市環境基本計画」と「第 3 次豊中アジェンダ 21」が共有する「望ましい環境都市像」の実現、および「豊中アジェンダ 21」の 80 項目の行動提案の達成をめざして、センターを管理・運営しました。

これまでの 2 期・10 年間の運営を踏まえて、第 3 期ではこれらを継続・アップデートする考え方（施設運営の方向性）で「芽を育てながら、新しい種をまく」とともに、その先のステージも見すえた「交流を越えた成果の見える化」にも取り組み、センターの内外で年齢・性別・身体・国籍といった多様な人々との関わりを通して、持続可能な地域づくりに寄与していくこととしました。

2013 年度からの第 1 期では、多くの市民の利用者に対して「種をまく」期間とし、2017 年度からの第 2 期では、まいた種を「いかに育てて・つないでいくか」をイメージしてきました。特に、種を育てていくにあたり、“環境＝家庭や社会での生活そのものであることを気づいてほしい”“気づいたことを周りに伝えてほしい”“学んだことが地域に広がってほしい”という考えのもとに組みました。

2023 年度からの第 3 期における事業運営の考え方として、第 2 期までに芽が出たものを育てていくとともに、さらなる市民の広がりを作るために新たな種をまいていくことが必要です。すなわち、“これまでよりもっと多くの市民が利用・交流する施設”をイメージしながら、これまで行ってきた事業をアップデートし、より良い形で継続していくとともに、センターの利用者を広げることや情報の受発信による広がりなどを進めました。

また、センターにおけるこれまでの事業は、そのほとんどが普及啓発や環境学習などにつながるものであり、環境目標の達成につながるような直接的な数値の改善・成果を得るものではなかったところが課題でした。そこで、第 3 期ではセンターの中長期的な方向を見すえて、交流を越えた成果の見える化の取り組みも実施していきます。これにより、センターで第 4 期が開始する 2028 年度以降は、センターの目的が利用や交流だけではない施設運営へと発展するための流れを作っていくことを想定しています。

こうした事業運営の考え方をまとめると以下の通りです。

<センター運営のイメージ>

- ・これまでよりもっと多くの市民が利用・交流する施設
- ・多様な利用・参加・活躍ができ、市民の役に立つ施設
- ・利用・交流にとどまらない、成果の見える施設

<センター運営の方向性>

芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）

交流を越えた成果の見える化（次のステージに向けて）

[芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）]

第1期：種をまく、第2期：芽が出る、第3期：育てる

ニーズのある取組みを中心にアップデートして継続

利用者の広がり、市内への取組みや情報の広がりなどの新しい種をまく

[交流を越えた成果の見える化（次のステージに向けて）]

既存の取組みのうち、成果が見える化する取組みを作る

新たに成果の見える取組みを実施する

センターの評価指標について、第3期は利用者数（センターの来館者数＋センター外での行事等の参加者数＋オンラインでの行事等の参加者数）と稼働率になります。確保すべきサービスレベルは17,000人と44%、最高評価サービスレベルは25,500人と66%になっています。

第3期からは、来館者数から利用者数に変更になり、施設以外での事業実施についてもこれまで以上に求められることとなるため、2023年度は従来の事業の一部についても施設外で実施し、より多くの市民へ取組みを広げました。2024年度は、2023年度に実施した子ども服リユースの取組みについて、環境省の「令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」も活用しながら取組みを拡充しました。

その結果、2024年度の利用者数は24,044人で、確保すべきサービスレベルの17,000人を大幅に上回りました。特に、行事等の参加者数が館外とWEBをあわせて6,071人で、2023年度の980人から5倍以上の増加となりました。

2. 施設の維持管理・運営体制

(1) 施設概要

- ・施設名 豊中市立環境交流センター
- ・所在地 豊中市中桜塚1丁目24番20号
- ・施設規模 床面積 658.97 m²
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
12月29日～1月3日
- ・貸室区分 9時～12時、13時～17時
- ・受付開始 目的利用：使用日3ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
目的外利用：使用日1ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
- ・貸室 会議室1、会議室2、展示スペース（会議室1はABCの3つに分けることができる）

(2) 開館日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
日数	25日	27日	26日	26日	27日	25日	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	27日	26日	24日	24日	24日	26日	307日

(3) 運営体制

①職員

2024年度は年度途中で職員の退職や新規採用、育児休暇からの復帰等があったものの、実質的に概ね5人の職員体制でセンターの運営にあたりました。内訳は、総括責任者1人、職務代理人3人（以上4人が常勤）、非常勤職員1人です。なお、総括責任者は現場の管理監督者として、職務代理人のうち1人は育児短時間を取得しての勤務でした。

この他に、センターへの勤務を要しないアルバイト職員4人が、在宅でのSNS発信やイベント時のサポートなどを行いました。

②担当理事

センターの運営と当団体の活動がうまくリンクするため、および、運営に関する当団体の意思決定を円滑に進めるため、当団体理事の中から担当理事5人（理事職の総括責任者含む）を選出し、担当理事会を2回開催しました。

月日	1月30日（木）	3月4日（火）
参加者数	5人	4人

③研修の実施

職員の能力向上、および施設運営に必要な知識を得るため、当法人で策定した人材育成基本方針等に基づき研修の参加・実施を行いました。

2024年度は豊中市内の中間支援団体5団体が合同で各団体の職員を対象としたファシリテーション研修を実施し、当団体だけでは実施が難しいグループワークなども取り入れた内容を受講することが可能となりました。

日時	内容	会場	研修の種類	参加者数
8月30日(金) 13:00~15:00	令和6年度人権問題事業者学習会(豊中市主催)	オンライン	人権に関する研修	1人
9月19日(木) 17:30~18:15	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
9月12日(木) ~29日(日)	令和6年度人権問題事業者学習会(資料等の共有)	—	人権に関する研修	4人
10月4日(金) 13:00~15:00	ファシリテーション研修	市民公益活動支援センター	専門的な研修	2人
10月9日(水) 10:00~12:00	普通救命講習	豊中南消防署	基礎的な研修	1人
12月25日(水) ~26日(木)	普通救命講習(内容等の共有)	環境交流センター	基礎的な研修	4人
3月13日(木) 17:30~18:30	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
合計		7回		22人

※センター運営にあたった当団体職員のうち参加人数

(参考) 研修の種類別の実施回数・人数

種類	回数	延べ人数
(1) 人権に関する研修	2回	5人
(2) 基礎的な研修	4回	15人
(3) 専門的な研修	1回	2人
(4) 自主的に受講する研修	0回	0人
(5) 資格取得に関する研修	0回	0人
合計	7回	22人

※職員全員を対象とした人権研修は同内容を当団体理事にも実施(②担当理事の欄に記載)

④職員面談

次年度の職員体制に向けて、職員の勤務状況や現状の課題などを確認するため、当団体の理事長との個別面談を実施しました。

実施期間：3月18日(火)~19日(水)

(4) 運営会議

業務の状況報告やモニタリング、管理運営の検討などを行うため、当団体職員とゼロカーボンシティ推進課による運営会議を環境交流センター、またはオンラインにて毎月実施しました。

月日	4月25日(木)	5月17日(金)	6月21日(金)	7月23日(火)
当団体	2人	2人	2人	2人
市	3人	2人	2人	2人
月日	8月20日(火)	9月11日(水)	10月11日(金)	11月12日(火)
当団体	6人	2人	2人	2人
市	2人	4人	2人	2人

月日	12月13日(金)	1月15日(水)	2月14日(金)	3月11日(火)
当団体	2人	2人	2人	2人
市	3人	2人	4人	2人

※8月20日の当団体の人数はインターンシップの大学生を含む

(5) 来場者アンケート

施設利用者に対するサービス改善、および指定管理者のモニタリング事項として、来場者アンケートを実施しました。結果については、別途提出した報告書の通りです。なお、毎年100枚以上の回収を目標としています。

- ・期間：2月7日(金)～28日(金)
- ・対象：センターに来館した高校生以上の方
- ・回収数：113枚(目標数100枚)
- ・実施方法：受付への設置、および来館者への配布
- ・その他：回答者の中から抽選で10人に図書カード(500円)を進呈

2024年度は中学生以下を対象とした簡易なこどもアンケートは実施せず

(6) 設備点検・維持、および修繕

①設備の点検・維持(定期)

- ・床のワックスがけ(年3回)
- ・床のワックス剥離(年1回)…展示スペースのみを実施
- ・空調設備の点検(年4回)…業者による点検2回、職員による簡易点検2回
- ・自動扉の点検(年4回)
- ・消防設備の点検(年2回)
- ・屋根上の点検(年2回)…空調設備の簡易点検とあわせて実施

②設備や備品の修繕・追加

月日	内容
10月2日(水)	ピクチャーレールの設置(展示スペースの自動扉横)
12月19日(木)	会議室1フロアコンセントの蓋修繕(3か所)
3月31日(月)	会議室1巾木修繕、施設内の木製扉の枠周り塗装

③施設の維持

月日	内容
8月24日(土)	施設前のタイル清掃
	裏庭の草抜きと枝の剪定
8月27日(火)	裏庭の草抜きと枝の剪定

④その他

月日	内容	備考
9月1日(日)	AEDパッドの交換	有効期限の期限切れに伴う対応

(7) 安全管理対策の状況

①安全管理マニュアル

当団体の職員、および会員が生命身体に危険を及ぼす可能性のある作業を行う際の留意事項をまとめた「安全管理マニュアル」を作成・提出しました。同マニュアルは、当団体の職員全員、および該当する会員に配布するとともに、事務室や倉庫などの目立つ場所に掲示しました。

なお、2024年度中に該当する対応はありませんでした。

②緊急時のマニュアル

急病・けが、交通事故、地震、不審者・不審物、火災、警報といった緊急時の対応をまとめたマニュアルを整備しています。

なお、2024年度は緊急時の対応はありませんでした。

③賠償責任保険、行事保険

センターの来館者への責任を果たすため、賠償責任保険に加入しました。また、屋外で実施するイベントのうち、参加者が負傷する可能性があると思われる行事に対し、行事保険に加入しました。

なお、2024年度中はいずれの保険も執行はありませんでした。

(8) クレーム・課題点

センターの運営の中で、確認された課題点について、適切に対応・改善しています。なお、2024年度は特筆すべきクレームはありませんでした。

月日	内容	対応
12月6日(金)	6月のリユースバザーに出展したという女性から電話があり、6月の出店の撤収時に自動扉周辺に荷物を一時置きしたところ、カゴとカゴに入っていた荷物が誰かに持ち去られたため、防犯カメラの映像を見せてほしいという申し出があった。電話に出た職員が、自動扉付近には防犯カメラが設置されていないことと、他の防犯カメラも6月の映像が残っているかは確認しないとわからない旨を説明した。また、職員から電話をかけて来た方の名前を確認しようとする、「名前を言わないと確認させてもらえないのか」と繰り返し言われた。職員からは防犯カメラの画面は来館者の立ち入ることのできる場所にはないため、出店者であることの確認もせずにお見せすることはできない旨の説明を行ったが、最後まで名乗ることなく電話を切られた。電話後に防犯カメラの映像を確認したが、6月の映像は残っていなかった。なお、6月の開催からこの電話に至るまで、こうした盗難の申し出はなかった。リユースバザーの出店者に送付している抽選の当選通知には、説明資料を必ず事前に確認し、出店される場合は説明資料に同意されたものとみなす旨の文章を明記しており、その説明資料には「搬入出や荷物の預かり時等を含め、事故や盗難、破損の責任は一切負いかねます。」という文章も明記している。	ゼロカーボンシティ推進課に電話で経過を報告した。また、日報と月次報告書にこの件を記載した。

(9) その他

①警察からの要請に対する協力

月日	内容
9月27日(金)	豊中警察署から防犯カメラの映像確認の依頼があった。

②施設周辺や集いの広場に関する対応等

月日	内容	対応
12月10日(火)	通りすがりの方が来館し、センターから北側に少し離れた高架下にある「ふれあいの広場」にて子どもが水を出して遊んでおり、歩道まで水が及びそうなため気にかけてほしいとのことであった。その方は、センターが「ふれあいの広場」の管理をしていると思って来られたため、センターの管理ではないことを説明するとともに、現場の確認をしておく旨を回答した。職員が「ふれあいの広場」へ確認に行ったところ、小学校高学年くらいの男子3~4人が水場の蛇口から水を出して、水場から流れ出た水が流れる川を作って遊んでいたが、歩道にまで及ぶ心配はなさそうであり、また、掲示された公園の禁止行為に該当しないことから、注意等は行わず、現場の確認だけに留めておいた。	月次報告書に経過を記載して提出した。

③その他

月日	内容
7月18日(木)	閉館時、キッズコーナーを利用していた小学生の1人から自転車のカギとゲーム機が見当たらないとの申し出があった。本人に確認したところ、カギを持って施設内に入ったのは間違いのないとのことで、ゲーム機も施設内で使用していたため、職員と一緒に施設内や駐輪場を探したが見つからなかった。一緒に利用し、先に帰った友達が持ち帰ってしまった可能性が高いとのことであったが、友達も連絡がつかなかったため、本人が自宅へ自転車のスペアキーを取りに戻り、スペアキーで自転車を開錠して帰宅した。閉館時のカギの搜索から小学生がスペアキーを取って戻るまでの約1時間半、職員が閉館後も施設内で待機して対応を行った。

3. 管理運営業務の実施状況

(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供

これまでも多くの市民がセンターと関わり、交流をはかることができるように、センターに対して愛着を持ってもらう取り組み、個人や団体が日常的に受けられる取り組み、日程を定めたイベントなどを、利用者や地域団体や市民と一緒にを行っています。こうした交流の場を継続していくとともに、子ども服リユースの取り組みの拡充などを通して、施設内での交流だけでなく、地域での事業展開を通して地域の協働の促進に取り組みました。

① フリースペース・キッズコーナー

展示スペースにテーブル・イスを設置して貸室利用がない時に予約なしに利用できるフリースペースと、子どもが靴を脱いで遊べるスペース（キッズコーナー）を設けました。



② ポイントカードの配布

施設を利用してもらうためのツールとして、来館者（小学生以上）を対象にポイントカードを配布しました。施設の利用や行事の参加などに応じてポイントを付与し、ポイントが貯まれば景品を進呈するもので、中学生以下の希望者に対しては、これまで同様にジュニア用のポイントカードを配布し、カードは施設で保管する形としています。2022年度まではファンクラブメンバーを対象に実施していましたが、2023年度からは誰でも利用できる形へと変更しました。また、中学校の卒業以降はジュニア用ではなく、一般のポイントカードに変更となることから、年度末に新たに一般へと切り替わるジュニアの対象者に対して、ポイントカード変更の案内を送付しました。

2024年度は、ポイントを付与する内容について見直しを行うとともに、見直しにあわせたポイントカードのデザイン変更等を行い、これまでのファンクラブメンバーに案内を行いました。

2024年度の景品交換数は59件で、2023年度の58件と同程度でした。また、ポイントカード変更の案内を送付したジュニアの対象者は11人でした。



③陶器とりかえコーナー

家庭で使わなくなった陶器を回収・展示し、希望する来館者が自由に持ち帰ることができるようにしています。2022年度までは赤ちゃんからのESDが実施している「陶器とりかえ隊」の常設コーナーとしていましたが、同団体の活動内容が変わってきたことから、2023年度からは施設の取組みとして実施しています。

また、陶器とりかえの成果の見える化を目的に、2024年3月～4月に持ち込まれた陶器の計量を行ったところ、2か月間で290kgの陶器を回収しました。仮にこのペースで年間を通して回収できたとした場合、約1.7トンの資源循環に貢献したと言えます。

2015年に実施した際と比較すると、当時と季節が異なるものの、月平均の参加人数が増加しており、活動が広がってきていることがわかりました。

計量結果			(参考) 過去の計量結果		
月	人数	重量	月	人数	重量
2024年3月	47人	164kg	2015年7月	35人	177kg
2024年4月	46人	126kg	2015年8月	21人	63kg
			2015年9月	33人	131kg
合計	93人	290kg	合計	89人	131kg
月平均	46.5人	145kg	月平均	29.7人	43.7kg
1人あたり	—	3.1kg	1人あたり	—	4.2kg



④リユースコーナー

豊中市伊丹市クリーンランドや豊中市家庭ごみ事業課と連携し、クリーンランドで回収したまだ使える家具や、豊中市臨時ごみリユース支援事業から提供を受けた家具などのリユース品を展示し、最終日に抽選会を行って、希望する市民へ提供しています。

2024年度はそれぞれの連携先と1回実施しました。家庭ごみ事業課とは、センター以外での開催も検討していましたが、実施には至りませんでした。

期間	提供元	応募数	抽選会・抽選者	抽選方式
6月5日(水)～ 7月7日(日)	豊中市伊丹市クリーンランド	10点すべてに 合計71件	7月7日(日) 14:00～ 参加者41人(スタッフ含む) クリーンランドが抽選	抽選会の参加者を優先
9月11日(水)～ 10月2日(水)	豊中市臨時ごみリユース支援事業	14点中7点に 合計38件	10月3日(木) 14:00～ 参加者7人 センター職員が抽選	抽選会の参加に関わらない



⑤不用品交換コミュニティボードの運営

2012 年度までリサイクル交流センターが実施していた不用品交換コミュニティボードを引き継ぎ、センター内での掲示とインターネットでの掲載を行いました。また、近隣市で同様の仕組みを運営している施設の情報を、ホームページに掲載して紹介しました。

2023 年度からの第 3 期では、仕様書に記載の取組みではなくなったものの、2021 年度後半頃から掲載の希望が増加しており、2024 年度も継続して実施しました。2024 年度の新規受付は、譲りたいが 40 件、譲ってほしいが 17 件で、いずれも 2023 年度の 25 件と 10 件から増加しました。また、施設外の参加人数は 23 人で、2023 年度の 24 人と同程度でした。

【「譲りたい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4 月分	4 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
5 月分	9 件	6 件	3 件	0 件	0 件	0 件	4 件
6 月分	11 件	4 件	7 件	1 件	0 件	0 件	0 件
7 月分	8 件	4 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
8 月分	10 件	3 件	0 件	2 件	1 件	1 件	0 件
9 月分	10 件	3 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
10 月分	16 件	7 件	1 件	3 件	5 件	1 件	0 件
11 月分	12 件	5 件	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件
12 月分	13 件	4 件	1 件	3 件	2 件	0 件	0 件
1 月分	9 件	2 件	1 件	2 件	1 件	0 件	0 件
2 月分	7 件	2 件	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
3 月分	6 件	0 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件
年度通算	44 件	40 件	19 件	16 件	9 件	2 件	

※2023 年度から繰り越した掲出 4 件、2025 年度へ繰り越した掲出 3 件

【「譲ってほしい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4 月分	2 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
5 月分	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
6 月分	2 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
7 月分	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
8 月分	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

9月分	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
10月分	2件	1件	2件	0件	0件	0件	0件
11月分	2件	0件	1件	1件	0件	0件	0件
12月分	2件	1件	1件	0件	0件	0件	0件
1月分	4件	2件	0件	1件	0件	0件	0件
2月分	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
3月分	14件	11件	1件	0件	0件	0件	0件
年度通算	18件	17件	5件	4件	0件	0件	

※2023年度から繰り越した掲出1件、2025年度へ繰り越した掲出13件

【施設外の参加人数】

	合計	譲りたい			譲ってほしい		
		応募	希望	交渉	応募	希望	交渉
4月分	2人	0人	0人	1人	1人	0人	0人
5月分	3人	2人	1人	0人	0人	0人	0人
6月分	4人	1人	0人	3人	0人	0人	0人
7月分	2人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
8月分	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
9月分	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
10月分	3人	2人	0人	0人	0人	1人	0人
11月分	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
12月分	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
1月分	3人	1人	0人	2人	0人	0人	0人
2月分	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
3月分	2人	0人	0人	0人	1人	0人	1人
合計	23人	8人	1人	7人	4人	1人	2人



⑥リユースバザー

参加する市民を募集し、家庭で使わなくなった衣服や生活用品を安く販売するリユースバザーを開催しています。偶数月に地域こだわりマルシェ&野菜市場と同時開催することで、集客を確保するとともに、定期的に他の企画（古本市、省エネ相談会など）と同時開催することで、複合的なにぎわいを作り出してきました。

2024年度は、使わなくなった子ども用品を回収し、寄付された用品の買取査定額と同金額を豊中市立図書館へ寄付する取組み「リユスタキッズプロジェクト」を同時開催したところ、他の月よりも多く

の参加者を得ることができました。

月日	出店数	参加者数	同時開催
4月6日(土)	13店	142人	
6月1日(土)	12店	195人	リユスタキッズプロジェクト
8月3日(土)	12店	125人	
10月5日(土)	11店	139人	
12月7日(土)	13店	151人	
2月1日(土)	13店	118人	
合計	74店	870人	

※時間はいずれも 10:15～13:00

※出店の募集はいずれも 13 店だが、直前のキャンセル等により 13 店に満たない場合がある

※いずれも地域こだわりマルシェ&野菜市場と同時開催で実施し、参加者数は同時開催の人数を含む



⑦親子ぐるぐるフェス

未就学児から小学生くらいの子どもとその保護者を対象に、リユースやアップサイクル、リペアなどの行動を通してモノと向き合い、モノを大切に作る習慣と、ごみの減量を意識した暮らしを考えるための参加・体験型イベントとして開催しています。子ども店長によるリユースバザー、制服・学用品や絵本の交換会などを通して、参加者同士の交流をはかるとともに、他団体と連携して絵本の読み語りやリサイクル工作なども一緒に開催しています。

新型コロナウイルス感染症の流行以降は実施を見送っていた子ども店長によるリユースバザー「えこっ子フリマ」を再開したところ、参加者数が 2023 年度から 100 人増の 260 人となりました。「えこっ子フリマ」の再開により、参加者数も新型コロナウイルス感染症の流行以前に戻すことができました。

日時	内容	参加者数
1月15日(水)～2月21日(金)	絵本の回収	—
3月2日(日) 13:00～15:30	親子ぐるぐるフェスの開催	260人

※参加者数は出店者を含む



⑧地域こだわりマルシェ&野菜市場

地産地消および循環型社会の推進のため、とよっぴーで育てた豊中産の野菜などを有料配布しました。また、「豊中市小売商業団体連合会」と連携し、環境や健康に配慮し、こだわりを持って地域で商いをしているお店の商品も販売しました。

月日	4月6日	5月4日	6月1日	7月6日	8月3日	9月7日	
参加者数	142人	52人	195人	26人	125人	45人	
月日	10月5日	11月2日	12月7日	1月11日	2月1日	3月1日	合計
参加者数	139人	27人	151人	21人	118人	35人	1,076人

※いずれも土曜の10:00~11:00で実施

※参加者数は販売のスタッフを含む

※偶数月はリユースバザーと同時開催のため、バザーの参加者を含む



⑨自然工作

小学生などの子どもを対象に、豊中産の自然素材（竹や小枝など）を使って自然工作を行いました。工作の過程や、できた工作物（おもちゃ）で遊ぶことを通じて、長らく自然環境の保全に取り組むシニアと、次世代の子どもたちの交流をはかるとともに、自然工作の材料となる素材を通して、豊中の雑木林の現状や、自然環境への理解を深める機会としています。

2024年度は2回開催し、そのうち1回をセンター外で行いました。

日時	内容	講師	場所	参加者数
8月9日(金) 10:00~11:30	首ふり子犬とモックン作り	当団体の竹炭プロジェクトのメンバー	環境交流センター	34人
12月22日(日) 10:00~11:30	豊中の竹を使った小鳥の置き物とけん玉作り		千里公民館	10人
合計		2回		44人

※参加者数は当団体の会員を含む



⑩おもちゃ病院

とよなか・おもちゃ病院と連携し、モノを長く使ってもらうため、壊れたおもちゃを修理する場を作りました。その場で修理できなかったおもちゃは、入院として一時預かりを行い、とよなか・おもちゃ病院が修理後、持ち込んだ方へお返ししました。

2024年度の参加者数は443人で、2023年度の573人からは減少したものの、2022年度の446人と同程度で、毎回多くの参加を得ています。また、とよなか・おもちゃ病院として、ちゃんぷる屋台村や、とよなか市民環境展へ出展した際に入院したおもちゃは、センターでの開催時に返却するといった連携を行い、おもちゃ病院のセンター外での機会提供に協力をしました。

月日	4月13日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	
参加者数	38人	40人	42人	43人	30人	28人	
月日	10月12日	11月9日	12月14日	1月11日	2月8日	3月8日	合計
参加者数	35人	37人	42人	38人	33人	37人	443人

※いずれもすべて土曜の10:00~11:30で実施

※参加者数はおもちゃ病院のスタッフを含む



⑪おはなし会「わにわに」

未就学児と保護者を対象にした絵本の読み語りを開催しました。環境につながる絵本を取り入れることや、簡単な手づくり工作をセットで行うことで、若い親子世代に環境やリサイクルに親んでもらう機会としています。

2024年度は、親子ぐるぐるフェスでの実施も含めて、計5回開催しました。

月日	6月9日	8月25日	10月6日	12月22日	3月2日	合計
参加者数	26人	31人	40人	20人	60人	177人

※いずれも日曜、単独開催は10:30~11:30で実施

※当団体の企画屋本舗プロジェクトが実施（参加者数は企画屋本舗の担当者を含む）

※3月2日は親子ぐるぐるフェスにて実施



⑬リサイクル作品展

小学生が夏休み中の自由研究などで作成したリサイクル工作の作品を募集・展示し、豊中市と連携して優秀作品を表彰しました。

2024年度の応募は39件で、2023年度の43件と同程度でした。

期間	内容
8月1日(木)～7日(水)	作品の募集(39件)
8月9日(金)～20日(火)	作品の展示(入賞5件)



⑭施設間連携の企画(とよなかシネコン)

豊中市内で指定管理等により運営している各分野(国際交流、男女共同参画、人権、市民公益活動など)の施設と連携し、施設間で連携した企画を実施しています。新型コロナウイルス感染症が流行して以降の2020～2023年度は5～6施設が連携した映画上映「とよなかシネコン」を実施し、各施設ともに市民に好評であったことから、2024年度も継続して実施し、施設間の連携を深めました。2024年度からは、参加する施設で事務局を持ちまわることとし、2024年度はNPO法人とよなかESDネットワーク(市民公益活動支援センター)が事務局を務めました。

また、センターでは、これまでも豊中市内で活動する団体の協力を得て映画の上映を行っており、2024年度は(一社)ソーシャルギルドの協力により上映会を行いました。

日時	行事名	参加者数	マチカネポイント付与
1月26日(日) 10:00～11:30 13:00～14:30	とよなかシネコン「食べることは生きること」 (同じ内容を2回上映)	63人	42人

※参加者数は協力団体のスタッフを含む



⑮制服・学用品の回収・支援

豊中市内で市民活動に取り組む有志などで構成する「おさがりの会」と連携し、まだ使える制服や学用品をセンターで回収し、必要とする人へのマッチングを行っています。さらに、2022年度からはこの取組みが環境×福祉の事業へと発展することをめざして、回収した制服や体操服、ランドセルなどの写真・サイズ等の情報をInstagramの非公開アカウントに掲載し、子育て支援や生活困窮者支援の活動をしている方と共有しています。

2024年度は、引き続き制服や学用品を回収・保管するとともに、生活困窮者支援や外国人支援をしている団体へ情報提供し、まだ使える制服や学用品を効果的に活用しました。また、豊中市内にあるランドセルの専門店から豊中市への相談を引き受けて、販売には向かなくなった展示品等を受け、それらも生活困窮者等の支援に活用しました。

【制服・学用品等の回収・販売】

日時	内容	スタッフ数
5月8日(水)～31日(金)	制服・学用品の回収 制服、ランドセル、文具など約620点	—
9月13日(金)	カザマランドセルからランドセル13点の提供	—
3月2日(日) 13:00～15:00	制服・学用品の販売(親子ぐるぐるフェス) 制服・体操服、文具など約110点	2人

【生活困窮者支援の関係者を通じて、制服・学用品等の提供】

時期	件数(内容)
4月	1件(ランドセル1点)
6月	1件(うわぐつ1点)
11月	1件(ランドセル9点)
3月	1件(えんぴつ・消しゴム1箱分(100本程度))

※上記以外に、問合せがあったものの、在庫がなかったため提供に至らなかったケースもあった



⑯子ども服の回収・配布

センターでは、これまでも毎年期間を定めて子ども服を回収し、豊中市家庭ごみ事業課へ提供を行ってきました。その一方で、2021～2022年度に(一社)ソーシャルギルドがセンターを会場に子ども服リユースを実施し、特に、2021年度は家庭ごみ事業課の保有する子ども服を使った豊中市の実証実験によるものでしたが、多くの市民が子ども服を求めて来館されました。そこで、2023年度からは、豊中市内で子ども服の循環や回収・配布に取り組む団体や、行政等も参加した意見交換会を開催するとともに、他団体とも連携して子ども服の回収・配布を企画し、施設と施設外の両方で実施しました。

2024年度は、子ども服リユース「おゆずりぐるり」という名称で市内の子ども服の活動を広げ、当

団体が採択された環境省の「令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」も活用しました。具体的には、子ども服の回収・配布の常設場所の拡充の一環として、センターに常設コーナーを設置するとともに、他団体とも連携して地域で子ども服を回収・配布するイベントを実施しました。また、常設場所を定期的に訪問・対応するコーディネーターやイベント等での作業に参加するボランティア等を登録し、新たな担い手づくりも行いました。

【子ども服の常設拠点の設置】

期間	利用者数	回収	配布
6月	150人	411枚	286枚
7月	133人	53枚	361枚
8月	94人	82枚	325枚
9月	86人	139枚	213枚
10月	99人	144枚	502枚
11月	91人	161枚	437枚
12月	155人	418枚	447枚
1月	—	149枚	276枚
2月	—	246枚	143枚
3月	—	349枚	388枚
合計	—	2,152枚	3,378枚

※常設拠点の設置は、6月5日から開始

※利用者数は環境省のモデル事業の期間のみカウント



【イベントの実施】

期間等	行事名	場所	参加者	回収	配布
4月3日(水)～ 10日(水)	せんちゅうパル	せんちゅうパル	2,016人	3,135枚	5,390枚
4月20日(土)	服部西会館	服部西会館	162人	347枚	456枚
7月5日(金)～ 11日(木)	野畑図書館	野畑図書館	501人	2,130枚	1,280枚
8月27日(火)～ 9月1日(日)	岡町図書館	岡町図書館	682人	2,327枚	2,384枚
9月28日(土)	ちゃんぷる屋台村	とよなか男女共同参画推進センター	197人	163枚	502枚

10月23日(水)～ 30日(水)	東豊中図書館	東豊中図書館	705人	3,101枚	2,409枚
11月16日(土)	とよなか市民環境展	豊島体育館	49人	537枚	—
11月23日(土)～ 24日(日)	北条公民分館文化祭	北条小学校	224人	296枚	1,275枚
12月7日(土)	みんなあつまれわく わくランド	千里体育館	148人	158枚	740枚
1月24日(金)	庄内コラボセンター	庄内コラボセンター	115人	—	102枚
2月27日(木)	庄内コラボセンター	庄内コラボセンター	63人	—	47枚
3月13日(木)	庄内コラボセンター	庄内コラボセンター	117人	—	172枚
合計	12回		4,979人	12,194枚	14,757枚

※参加者数はいずれも協力団体の関係者やボランティアスタッフ等を含む

※庄内コラボセンターは、庄内保健センターの4か月健診にあわせて実施



【子ども服の回収】

コープ桜塚 回収 6,926枚 参加者数 7人 (欄外参照)

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
127枚	107枚	314枚	1,362枚	896枚	1,488枚	261枚	644枚	701枚	1,026枚

※6月から開始

※毎月第2金曜から翌週の木曜まで (店舗の開館時間、ただし最終日のみ17時まで)

※回収箱設置のため参加人数が不明だが、環境省のモデル事業の関係で11月に一部の時間のみ持ち込みをカウントとした人数は実績として計上している

千里体育館

11月22日(金)～12月5日(木) 回収 1,564枚

※回収箱設置のため参加人数は不明

【その他の取組み】

- ・他の常設拠点との連携、運営協力 (ハンガーラック等の提供、子ども服の運搬・提供)
- ・登録ボランティアの対応 (イベント、仕分け作業の協力、常設拠点の作業支援等を依頼)
- ・子ども服リユースの意見交換会 (7月25日、10月2日、12月10日、3月4日)
- ・リーフレット等の増刷、配布 (4月以降の配布準備を含む)
- ・生活困窮者支援の一環として、リユースのフォーマル服の提供 (2件)

【(参考) 環境省のモデル事業として実施した取組み】

- ・新規常設拠点の開設に向けた試行実施
(青少年交流文化館いぶきでの仕分け作業、イベントでの子ども服配布)
- ・大池小学校で環境学習の実施(4年生)、子ども服の回収(2週間で1,094枚回収)
- ・シミ・汚れのある子ども服を使った回収ボックスの制作
- ・子ども服リユースののぼり旗の制作(既存のもの増刷)
- ・子ども服の在庫整理(環境事業所)
- ・ボランティア体験会の実施・登録(合計5回実施、29人が参加し、25人がボランティア登録)
- ・コーディネーターの手引きの作成
- ・ショップカード、リーフレットの制作・配布
- ・シミ・汚れのある子ども服の洗濯(リユース困難な子ども服の対応)
- ・事業の効果検証(アンケート、ヒアリング、結果の分析等)

⑰豊中市市民公益活動団体への支援

2023年1月末に豊中駅構内の市民活動情報サロンが閉鎖し、2023年2月からは庄内コラボセンター内に市民公益活動支援センターが開設されました。これに対して、市民活動情報サロンを利用していた市民公益活動団体の活動場所についての課題が残されています。そこで、豊中市に登録している市民公益活動団体を対象に、2023年6月から施設の会議室を指定の日時にミーティング等で利用できるような支援を開始しました。

2024年度も引き続き、月に2~3回程度の機会を設けるとともに、その内容を市民公益活動支援センターから市民公益活動団体へ情報提供をしてもらいました。問合せやセンターの見学などは一定程度ありましたが、所定の利用日の利用者はありませんでした。

また、9月28日(土)に開催したちゃんぷる屋台村について、市民公益活動支援センターを通じて市民公益活動団体へも出展を呼びかけました。市民公益活動支援センターが開設して以降、市民公益活動団体向けのイベントの開催が庄内中心になっている中で、市民活動情報サロンがあった豊中駅周辺でのイベントに参加できる機会を作ることができました。

月	日	月	日
4月	11日(木)、24日(水)	10月	10日(木)、23日(水)
5月	4日(土)、9日(木)、22日(水)	11月	2日(土)、14日(木)、27日(水)
6月	13日(木)、26日(水)	12月	12日(木)、25日(水)
7月	6日(土)、11日(木)、24日(水)	1月	9日(木)、11日(土)、22日(水)
8月	8日(木)、28日(水)	2月	13日(木)、26日(水)
9月	7日(土)、12日(木)、25日(水)	3月	1日(土)、13日(木)、26日(水)

※第2木曜の全日、第4水曜の全日、奇数月の第1土曜の午後に設定

⑱出張回収コーナー

施設で回収している物品のうち、陶器の食器や子ども服などは持ち込みのニーズが高く、豊中市内の各地から自家用車等で運んでくる市民が多い状況です。そこで、当施設とは別に、それらの物品を出張して回収する機会を設けることで、市民のリユースと資源の循環を促進します。

2024年度は、千里文化センターコラボ内のテトラポットカフェにて、陶器の食器の出張回収を行い、約107kgを回収しました。回収した陶器は、回収場所で配布するとともに、残りは後日にセンターの陶器とりかえコーナーに設置しました。また、陶器の食器の回収を広く知ってもらうため、ちゃんぷる屋台村でも陶器の食器の配布を行いました。

日時	場所	参加者数
9月28日(土) 11:00~15:00	とよなか男女共同参画推進センター	27人
3月27日(木) 10:00~15:00	千里文化センターコラボ	45人

※参加者数は、持ち帰りのみの人数を含んでいる



⑲市民向け地球温暖化対策事業との連携

市民向け地球温暖化対策事業について、2023年度までは当団体が毎年度ごとに受託し、施設を利用して実施する取組みは、自主事業として整理を行ってきました。2024年度は他の事業者が業務を受託しましたが、センターを利用した実施や協力の要請がなかったため、指定管理事業としての連携はありませんでした。

⑳ファンクラブ制度の代替取組み

施設に愛着を感じ、施設を応援してもらうためファンクラブ制度を運用してきましたが、これまでで一定の役割を果たしたことから2022年度末で終了しました。その一方で、ファンクラブメンバーに提供していたポイントカードの配布やイベント等の情報提供、メンバーの交流企画などは引き続き実施し、参加者に不利益にならないように配慮しています。

2024年度は、これまでのファンクラブメンバーに対して、メールマガジン(毎月)や郵送(年1回)によりセンターのイベント等の案内を行いました。また、郵送の際に、ポイントカードの変更等についての案内も行いました。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していなかったものの、リユースコーナーとあわせて、豊中市伊丹市クリーンランドと連携した取組みを実施しました。

日時	内容	参加者数
7月7日(日) 13:00~14:00	クリーンランド市民講座(ひょうたん飾り作り)	30人
7月2日(日) 14:00~14:30	クリーンランド出前講座	35人

※参加者数はクリーンランド関係のスタッフを含む



<成果や工夫したこと>

- ・③陶器とりかえコーナーでは、期間を限って回収量を計量し、どれくらいの陶器が循環しているかを見える化しました。その結果、2015年の調査時と比べて、参加者数・回収量ともに増加しており、市民の利用と資源循環が広がっていることがわかりました。
- ・④リユースコーナーでは、2023年度の実施時に展示品をカバンに入れて持ち帰られてしまったことを受けて、豊中市臨時ごみリユース支援事業からの提供分は、カバンに入れることができないような大きいサイズのリユース品を選びました。また、豊中市伊丹市クリーンランドからの提供分は、市民が手軽に運ぶことのできるリユース品も展示したいという意向があったため、「防犯カメラ作動中」の表示を掲示して、防犯カメラの映る範囲にリユース品を設置しました。
- ・⑦親子ぐるぐるフェスでは、地域の開店閉店情報、地域イベント、人気グルメネタなど、様々なジャンルの切り口から地域の魅力を再発見できるニュースを配信するWEBサイト「号外 NET 豊中」にて、開催前（2月16日）と開催後（3月8日）の計2回、それぞれ単独ページで詳しく紹介していただきました。掲載に際しては、ライターの方と原稿の確認や開催日当日の取材対応も行いました。
- ・⑭施設間連携の企画（とよなかシネコン）は、センターにとっても普段とは異なる層の来館者が見込まれる機会ですが、2023年度の参加者が少なかったことを受けて、上映する作品を検討するとともに、シネコンの期間の後半に実施することで、募集・広報期間を長く確保しました。その結果、午前・午後ともに定員を超える申込みを得ることができました。
- ・⑯子ども服の回収・配布では、当団体が環境省の「令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」に採択され、指定管理事業として実施しつつも、モデル事業で実施する取組みや経費も活用しつつ、相乗効果を図っていくことができました。なお、環境省のモデル事業で実施したイベントでのアンケートによると、参加者の約93%が取組みに満足しており、期間中に600万円近い経済効果（家計の支援の効果）があったことがわかりました。
- ・⑯子ども服の回収・配布では、せんちゅうパルからの呼びかけで、空き店舗をお借りして実施したところ、これまでになかった規模（参加者数、配布枚数）での実施となりました。
- ・⑯子ども服の回収・配布では、常設拠点の運営に際して、より効果的なスペースとするため、豊中市の許可を得て、壁面上部に新たにピクチャーレールを設置しました。取組みの説明パネルを壁面に設置することで、その下に子ども服を設置するなどの工夫が可能となりました。なお、環境省のモデル事業で実施した常設拠点のアンケートによると、常設拠点の利用者の8割以上が取組みの説明パネルを読んでいることがわかりました。
- ・⑯出張回収コーナーでは、千里文化センターコラボ内のテトラポットカフェの協力を得て、カフェ内で実施しました。過去に同じ場所で実施されていたコラボカフェには陶器とりかえコーナーが設置されていましたが、昨年秋にスタートしたテトラポットカフェでは陶器の取組みを実施しておらず、市民からのカフェへの問合せも多い状況でした。センターで出張回収を実施したところ、想定より多く

の方が陶器を持参されたため、カフェ内で希望者に持ち帰ってもらうことができるようにし、残った分のみをセンターに運搬しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・②ポイントカードの配布では、2024年度にポイントを付与する内容等の見直しを行い、それにあわせてエコゲーム（電源を使わないボードゲームなど）のセンター内での貸出しを再開することを決めました。ポイントを貯めて景品を交換する件数は横ばいであることから、今後は来館者がいつでも利用できる取組みとして、ポイントカードやエコゲームのPRを強化していくことが考えられます。
- ・⑭施設間連携の企画（とよなかシネコン）は、当初はとよなか国際交流センターが事務局を担っていましたが、2024年度からは各施設が持ち回りで事務局を担うこととなり、2025年度はセンターが事務局を担当することとなりました。各施設での相乗効果を生み出しつつ、普段はセンターを利用しない人にも来ていただく機会として、今後も活用していくことが考えられます。
- ・⑰豊中市市民公益活動団体への支援では、2024年度も市民公益活動支援センターの運営を受託しているとよなかESDネットワークと連携して周知を行いました。市民公益団体の利用につながりませんでした。今後は、2024年度のちゃんぷる屋台村への出展案内のように、会議室の利用とは違った形で市民公益活動団体への支援やPRを行うなど、取組み内容を見直していくことが考えられます。

(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供

施設における情報の収集・提供は、第3期の施設運営の方向性のうち、「芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）」として、SNSでの発信などを通して情報の広がりなどの新しい種をまくことをめざして実施しました。また、環境ギャラリー、図書などの閲覧・貸出しなどは、多様な団体と連携や、専門性を持った当団体の会員、地域の市民の協力を得て、情報の収集・提供を継続しました。

①ホームページの運営

オリジナルのドメインによる、施設のホームページを管理し、施設・行事・環境情報などを発信しました。また、スタッフブログも活用し、情報発信を行いました。

2024年度のホームページのアクセス数は、26,889 ページビューで、2023年度の24,969 ページビューから増加しました。

	投稿数	アクセス数
ホームページ	—	26,889 (ページビュー)
ブログ	5 件	—

※ページビュー：WEB ページ内のページを見た合計数（1人が複数回見たら重複カウント）

※ホームページアドレス <https://kankyokoryu.jp/>

ブログアドレス <http://staffblog.kankyokoryu.jp/>



③SNS を活用した発信の拡充

2020年度に実施された施設の指定管理者選定評価委員会の評価結果（中間評価）にて、施設の認知度を高め、実施事業を広く広報するため、SNS等を活用した多様な手法による周知が必要との評価を受けて、2021年7月からX（旧Twitter）とFacebookの運用を開始しました。これらのSNSを使用し、2024年度も情報の発信を行いました。

2024年度末のフォロワー数はX（旧Twitter）が320人、Facebookが172人で、2023年度末の266人と152人からそれぞれ増加しました。また、投稿数は、X（旧Twitter）が2023年度の335件から減少しましたが、Facebookは2023年度の58件と同程度でした。

	投稿数	フォロワー数
X（旧Twitter）	293 件	320 人
Facebook	61 件	172 人

※フォロワー数は2025年3月31日現在

※Twitterアドレス <https://twitter.com/kankyokoryu>

Facebookアドレス <https://www.facebook.com/kankyokoryu>



④環境交流センターのおしらせ

センターの行事や案内を、「環境交流センターのおしらせ」としてチラシにまとめて毎月発行し、センター内での掲示や来館者への配布を行うとともに、環境交流センターのホームページでも公開しました。

また、おしらせの内容について、毎月メールマガジンを発行しました。2022年度まではファンクラブメンバーを対象にしていたが、ファンクラブ制度の終了に伴い、2023年度からは広く希望者に配信しています。さらに、お知らせに掲載している内容は、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信・掲載を通して広く周知しました。

【メールマガジンの配信数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
配信数	290	290	290	290	290	290	290	290	290	290	286	283



⑤リーフレットの作成・配布

2023年度に作成したセンターの紹介リーフレットについて、2024年度も引き続きセンター内やイベント等で配布しました。



⑥地域イベント等での施設 PR

より多くの市民に施設のことを知ってもらうことができるように、地域や公共施設で開催されているイベント等において、施設の PR を行いました。2024年度は、主に当団体の活動でイベントにて「とよっぴー」の販売等を行う際、センターでも「とよっぴー」を販売していることを説明し、センターのリーフレットの配布等を行いました。

日時	行事名	場所	参加者数
6月27日(木) 10:00~11:00	とよっぴー地産地消採りたて野菜市	さわ病院	5人
7月10日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	9人
7月16日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	3人
7月17日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	6人
8月21日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	4人
9月18日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	9人
9月24日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	6人
9月26日(木) 10:00~11:00	とよっぴー地産地消採りたて野菜市	さわ病院	1人
10月9日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	3人
10月18日(金) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	4人
10月22日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	9人

11月13日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	5人
11月20日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	7人
11月23日(土) 10:00~14:00	農業祭	豊島公園	48人
11月26日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	3人
12月11日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	2人
12月18日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	8人
12月24日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	4人
1月8日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	1人
1月15日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	1人
1月28日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	4人
2月12日(水) 10:30~11:30	地産地消イベント	くらしかん	2人
2月19日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	6人
2月25日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	4人
3月19日(水) 10:00~11:00	コラボ朝市	千里文化センターコラボ	3人
3月25日(火) 10:00~11:30	ショコラ朝市	庄内コラボセンター	1人
3月27日(木) 10:00~11:00	とよっぴー地産地消採りたて野菜市	さわ病院	2人
合計	27回		160人

※配布を予定したものの、参加者数が0人であったイベントは記載を省略している



⑦メディア等への情報提供

これまでも施設の取組みについて、FM千里（コミュニティFMのラジオ局）の生放送、ケーブルテレビ（J:COM）の取材、「TNN 豊中報道。2」への紹介など、メディアの取材や対応を行ってきました。また、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」など、民間のイベント告知ページへもイベント情報の掲載を行ってきました。2024年度も引き続き、メディア等への情報提供を行いました。

⑧デジタルサイネージの取組み

2020年度に実施された施設の指定管理者選定評価委員会の評価結果（中間評価）にて、施設の目的が理解されやすいような表示の工夫が必要との評価を受けました。そこで、2021年度からは施設前の通行者に対して、豊中市が導入した大型モニターを活用して、デジタルサイネージのような発信を一定期間試行してきました。2024年度はデジタルサイネージでのイベント情報の表示方法等を検討し、イベントの告知等の発信を行いました。

⑨環境ギャラリー

環境交流センターの展示スペースを活用し、環境にまつわる展示を行っています。2024年度も指定管理事業に関するものや、豊中の自然をテーマとしたものなどを紹介しました。

期間	内容	団体
7月10日（水）～ 8月2日（金）	人にも環境にもやさしくなれる図書展	—
1月16日（木）～ 2月27日（木）	あの日を忘れない！～いのちと環境を守り、未来につなごう～	福島プロジェクト豊中
3月26日（水）～	豊中オオキンケイギク分布調査2024	当団体の自然部会



⑩図書などの閲覧・貸出し

環境に関する図書や資料を設置し、図書・資料室にて閲覧スペースを設けるとともに、利用者が希望する図書などについて、内規に基づき貸出しを行いました。さらに、閲覧・貸出しを促進するため、環境ギャラリーの一環として、図書をテーマとした展示も実施しました。

2024年度の貸出し件数は17件で、2023年度の23件からやや減少しました。なお、研修等への利用目的による、DVDの貸出しも含まれています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数	1	0	2	2	2	5	2	2	0	0	0	1	17件
貸出冊数	1	0	4	4	2	14	3	2	0	0	0	1	31冊

※図書をテーマとした展示は、(2) ⑨環境ギャラリーに記載



⑪地域との連携強化

センターがある南桜塚校区の地域自治組織（南桜塚校区地域連絡協議会）に2018年4月の総会から当団体として正式に加盟しています。協議会の一員としての役割を果たすことを通じて、地元地域との連携を強化し、地域でのセンターの理解向上へとつなげていくことをめざして参加したものです。なお、協議会の加盟団体は、部会活動に参加することとなっており、引き続き防災部会に参加するとともに、2023年度から2024年度にかけての2年間、防災部会の副部会長を務めました。

また、豊中市社会福祉協議会の地域福祉ネットワーク会議への参加を通じて、センターの機能を紹介するとともに、豊中市内の地域団体とのつながりを拡げることをめざしました。

【南桜塚校区地域連絡協議会】

項目	日時	内容	場所
全体	5月12日（日）19:00～20:00	総会	南桜塚会館
	1月18日（土）18:00～20:00	新年互例会	ホテルアイボリー
	5月26日（日）19:00～20:00 7月28日（日）19:00～20:00 10月26日（土）19:00～20:00 12月8日（日）19:00～20:00 3月23日（日）19:00～20:00	運営委員会	南桜塚会館
	4月8日（月）18:00～19:00 5月26日（日）18:00～19:00 10月26日（土）18:00～19:00 12月8日（日）18:00～19:00 3月23日（日）18:00～19:00	役員事務局各部会長副部会長会議	南桜塚会館
	5月18日（土）19:30～21:00 7月19日（金）19:30～21:00 9月21日（土）19:30～21:00 10月18日（金）19:30～21:00 11月15日（金）19:30～21:00 1月17日（金）19:30～21:00 3月15日（土）19:30～21:00	防災部会	南桜塚会館
	9月10日（火）8:15～17:15	防災セミナー	北淡震災記念公園
	11月23日（祝）10:00～11:30	防災訓練	南桜塚小学校
	1月18日（土）8:45～11:00	全市一斉防災訓練	南桜塚小学校
	2月21日（金）19:00～20:30	防災研修会	南桜塚会館

防犯部会	10月23日(水) 15:00~16:00	子ども見守り活動隊	下原公園
	2月5日(水) 15:00~16:00		大塚公園

※協議会活動のうち、参加・出席したものを記載



【地域福祉ネットワーク会議】

月日	エリア	場所
7月18日(木) 14:00~16:00	中東部	中央公民館
7月22日(月) 14:00~16:00	北西部	とよなか男女共同参画推進センター
7月30日(火) 14:00~16:00	中部	中央公民館
2月5日(水) 14:00~16:00	中部	中央公民館
2月12日(水) 14:00~16:00	中東部	中央公民館
2月28日(金) 14:00~16:00	中西部	中央公民館

※2月の開催分では、子ども服リユース「おゆずりぐるり」のリーフレットを参加者全員に配布し、関係機関からの情報提供として参加者向けにリーフレットを紹介

⑫学生の環境活動の支援

学生からの要請を受けて、環境活動や論文・研究に関する相談に応じ、必要に応じて活動のサポートや情報提供などを行っています。

日時	内容
8月6日(火) 11:00~11:45	減量計画課のインターンシップ生の見学対応
2月21日(金) 13:20~16:30	大阪大学環境サークル GECS の総会出席 (大阪大学豊中キャンパス)

※この他に大学生から環境教育に関する問合せもあったが、相手方の都合で相談対応に至らなかった



⑬ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出

環境分野における窓口対応として、質問票に対する回答があったごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出を実施しました。豊中市環境部のうち走井にある各課の事業について、市民が現地までアクセスするのが難しいため、市民の利便性向上を目的とし、施設でも同様の対応を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ごみカレンダー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2件
犬ふん看板	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	5件



⑭施設内での情報提供

施設に寄せられた環境イベントや環境に関するチラシやポスターについて、施設内で配架や掲示による情報提供を行いました。また、来館や電話による、環境情報の問合せや検索に関して支援しました。

2024年度の相談件数は34件で、2023年度の13件から3倍近くの増となりました。ただし、2022年度が28件であったことから考えると、極端に多くなったとも限りません。相談内容は、ごみの分別や出し方、家庭で不用となった物品の対処方法などが多く、傾向としては従来から変わっていません。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	1	5	4	2	2	5	4	3	3	4	1	0	34件

※センターの行事に関する問合せや当団体に対する問合せは含んでいない



<成果や工夫したこと>

- ・③SNSを活用した発信の拡充では、2024年度からSNSの投稿をメインに対応するアルバイト職員が交代しましたが、2023年度と同程度の投稿ができており、アクセス数やフォロワー数は着実に増加しています。担当者の個人技ではなく、仕組みとしてSNSを運用することができています。
- ・⑥地域イベント等での施設PRでは、2023年度に作成したのぼり旗やリーフレットを活用し、当団体が豊中市内の各地で出展や実施するイベントにて、参加者にセンターのPRを行いました。千里地域や庄内地域でも実施しており、市内の各地で広くセンターを知ってもらう機会となりました。

- ・⑩地域との連携強化のうち、南桜塚校区地域連絡協議会では、センターの総括責任者が運営委員として、防災部会に参加しており、2023年度に続いて2024年度も防災部会の副部会長を担いました（任期2年間）。2024年度は、部会長が都合により部会運営にほとんど携わることができなかつたため、部会の開催案内、資料の作成、部会の運営、イベントの対応、事務局との調整などを副部会長としてかわりに実施しました。このことで、地域の関係者との連携をより深めることにつながりました。
- ・⑪地域との連携強化のうち、地域福祉ネットワーク会議では、2月の開催時に、参加していない地区も含めた全7ブロックで、子ども服リユース「おゆずりぐるり」リーフレット（計670部）を当日資料と一緒に配布してもらいました。また、会議に参加した3ブロックでは、関係機関からの情報提供の1つとして、参加者向けにリーフレットの紹介も行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・①ホームページの運営のうち、2014年に開始したスタッフブログでは、SNSの活用に伴い、ブログへの投稿件数の減少が続いています。今後は、ブログの有無も含めたあり方について検討していくことが考えられます。
- ・④環境交流センターのおしらせのうち、メールマガジンの発行では、2022年度まではファンクラブメンバーを対象にしておりましたが、ファンクラブ制度の終了に伴い、2023年度からは広く希望者に配信しています。とはいえ、新規の配信希望が非常に限られており、配信数がゆるやかに減少しています。今後はメールマガジンの新規登録に向けた取組みを行っていくことが考えられます。
- ・⑬ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出では、犬ふん看板等の貸出が微増しているものの、ほとんど活用されていない状況です。今後は、センターで提供されるサービスの1つとして、さらにPRしていくことが考えられます。

(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施

基本的な考え方に基づき、SDGsの内容を盛り込むことで、持続可能な地域をめざして取り組みました。一方的に話を聞くだけの座学はできるだけ避け、参加・体験を通して学ぶものや、講師や協力団体と一緒に考えていく取組みを主としました。

① 「とよなかの環境」への意見募集の協力

豊中市の環境報告書「とよなかの環境」は、毎年夏頃に速報版を発行し、市民意見等を募集した後、その意見も反映・回答した最終版が翌年3月に発行されています。市民意見等については、豊中市により、市役所をはじめとした市内の公共施設で速報版の内容を展示し、意見募集を募っています。

2024年度も指定管理事業においてもゼロカーボンシティ推進課と連携して、センターで速報版の内容を展示し、意見募集への協力を行いました。なお、QRコードから市の電子申込システムによる回答であったため、センターでの回答者数は不明です。

期間	内容
10月16日(水)～27日(日) 9:00～17:00	「とよなかの環境」パネル展



② 地球温暖化対策につながる講座の開催

地球温暖化防止の推進として、市民を対象とした地球温暖化対策につながる講座を開催し、市民にとって身近なところから地球温暖化対策を実感してもらうことをめざしています。2022年度までは、市民向け地球温暖化対策事業にて同様の講座を開催していましたが、2023年度以降は指定管理事業として実施しています。なお、2024年度は参加者にマチカネポイントを付与しました。

日時	内容	講師	参加者数	マチカネポイント付与
7月20日(土) 13:00～14:30	夏休み 子ども電気博士になろう	山見拓さん((有)ひのでやエコライフ研究所)	25人	8組
12月1日(日) 13:00～15:30	窓断熱アイテム製作体験		10人	9人

※参加者は講師や保護者を含む



③自然観察会

地域の自然環境に親しんでもらうため、豊中市内の自然が残された場所で自然観察会を開催しました。

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
5月8日(水) 9:30~12:00	春の自然観察会	千里緑地	11人	0人	4人
8月4日(日) 9:00~11:30	箕面川の水生生物観察会	箕面川	15人	17人	8人
9月20日(金) 18:00~20:00	秋の夜の鳴く虫観察会	服部緑地	18人	16人	7人
2月1日(土) 9:30~12:00	冬の野鳥観察会	服部緑地	27人	0人	7人
合計	4回		71人	33人	26人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



④自然学習講座

豊中の自然環境の現状や保全についての理解を深めるため、学識者や研究者を講師に迎え、学習講座を開催しました。なお、講座は他の施設も利用して実施するなど、多くの市民が参加できるような機会作りを行いました。

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
10月26日(土) 14:00~16:00	生態系豊かな森作りをめざして～実践編～	常俊容子さん（大阪自然環境保全協会）	旧千里少年文化館	11人	2人

2月23日(日) 14:00~16:00	箕輪小学校のビオトープ 作りの話	福本雅一さん(箕輪公民 分館分館長)	中央公民館	14人	3人
3月16日(日) 14:00~16:00	クビアカツヤカミキリの 脅威と防除	土居常隆さん(富田林市 公園緑化協会)	中央公民館	15人	3人
合計	3回			40人	8人

※当団体の自然部会が実施(スタッフ数は自然部会の担当者の人数)



⑤自然ふしぎ発見クラブ

5歳から小学生と、その保護者を対象に、豊中の自然にふれあい、五感を使った自然体験の場として開催しました。

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッ フ数
			子ども	おとな	
4月20日(土) 9:30~12:00	竹のふしぎ発見と地下茎の観察	千里中央公園	21人	22人	5人
5月18日(土) 10:00~12:00	史跡探訪と箕輪小ビオトープの見学	箕輪小ほか	0人	0人	8人
6月23日(日) 10:00~12:00	緑地と田んぼの生き物調べ	ふれあい緑地	3人	3人	4人
7月27日(土) 18:30~20:30	公園でセミの羽化観察会	千里中央公園	32人	38人	5人
9月28日(土) 9:30~12:00	バッタなど秋の虫観察会	服部緑地	23人	21人	6人
1月11日(土) 10:00~12:00	冬の草木観察と七草がゆの試食	くらしかん	1人	1人	5人
合計	6回		80人	85人	33人

※当団体の自然部会が実施(スタッフ数は自然部会の担当者の人数)

※緑地と田んぼの生き物調べは雨天のため6月9日(日)から23日(日)に延期



⑥身近な生き物調査

自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然調査を実施しています。2024年度は特定外来生物のオオキンケイギクをテーマに、豊中市内全域で初めて分布調査を実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数
5月10日(金)	事前打合せ	環境交流センター	5人
5月11日(土) 14:00~16:00	調査説明会	環境交流センター	16人
5月11日(土)~ 7月11日(木)	調査期間	市内全域	22人
8月16日(金)~ 2月11日(祝)	調査結果まとめ作業、編集会議、冊子作成 (16回)	環境交流センター	89人
2月15日(土) 14:00~16:00	調査報告会	環境交流センター	15人
3月11日(火)	事後作業	環境交流センター	3人
合計	21回		150人

※当団体の自然部会が実施

※調査員数 22人



⑦自然環境の保全活動

豊中市内に残された豊かな自然環境を残していくため、地域で取り組まれている保全活動を施設の事業とすることで、広く市民にも参加を呼びかけ、体験を通して自然保全への理解を深める取り組みです。

2024年度は、猪名川を水源とし、走井・勝部・原田地区を流れる久名井用水に沿って探訪する企画や、猪名川自然林での保全活動の体験を行いました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
11月27日(水) 10:00~12:00	猪名川自然林の手入れと自然観察	猪名川自然林	1人	7人
3月26日(水) 10:00~12:00	豊中の里地探訪「九名井用水から勝部遺跡収蔵庫へ」	曾根駅~原田城跡~ 勝部遺跡収蔵庫	17人	6人
合計	2回		18人	13人

※当団体の自然部会が実施 (スタッフ数は自然部会の担当者の人数)



⑧暮らしやモノを考える講座

家庭の暮らしにつながる講座として、2024年度は整理収納・みどりのカーテンの2つをテーマとしました。

整理収納は、自分の暮らしにおける生活用品の適量を把握し、モノの手放し方を学ぶ機会とし、情報交換を通して主体的に学びあう場（サークル）を提供しています。半年間の連続講座として実施するとともに、サークルの卒業生を対象とした同窓会を継続しました。

みどりのカーテンは、緑化による省エネの推進として、花とみどりの相談所や豊中緑化リーダー会、豊中みどりの交流会などと連携し、ゴーヤの栽培に関する講習会を予定しましたが、大雨系統の発令により中止となったため、参加者のうち希望する人に対して、後日に講座の資料とゴーヤの苗を配布しました。

【整理収納サークル】

月日	内容	講師	参加者数	一時保育
5月15日	上半期（連続講座）	尾山敬子さん （整理収納アドバイザー）	10人	0人
6月19日			7人	0人
7月17日			6人	0人
9月18日			5人	0人
10月16日			6人	0人
11月20日	下半期（連続講座）		10人	0人
12月18日			9人	0人
1月15日			6人	0人
2月19日			8人	0人
3月19日			7人	0人
8月21日	同窓会		9人	0人
合計		10回	83人	0人

※いずれも水曜の10:00～12:00（初回のみ9:30～）で実施

※参加者数は講師を含む

※2024年度は一時保育の希望者がいなかった

【みどりのカーテン】

日時	内容	講師	参加者数
5月28日（火） 10:00～11:30	ゴーヤで緑のカーテン作り	豊中みどりの交流会 豊中緑化リーダー会	中止

⑨アップサイクル体験講座

第2期まではリサイクル工作という名称で、参加者の交流も含めて実施してきましたが、「リサイクル」の要素が少なかったため、第3期からは「アップサイクル」を打ち出して開催しました。

日時	内容	講師	参加者数
8月21日(水) 10:30~11:30 13:30~14:30	紙すきではがき作り	当団体職員	39人



⑩SDGsをテーマとした連続講座

第1期・第2期に実施していたESDセミナーを終了し、第3期からはSDGsの推進を目的とした連続講座を開催しています。講座では、地域で活躍するキーパーソンへのヒアリングやまち歩きなどを通して、SDGsにつながる地域の多様な魅力や資源を知るとともに、参加者に講座への参加を通してSDGsにつながる気づきを得てもらう機会としています。また、参加者がSDGsの取組みを実践する新たな担い手となっていくことも視野に入れて実施しました。

阪急宝塚沿線の駅周辺をテーマに、NPO法人とよなかESDネットワークの協力を得て、2024年度は豊中駅周辺と庄内駅周辺で連続講座を開催しました。

日時	内容	場所	参加者数	マチカネポイント付与
5月26日(日) 13:00~16:00	地元を極め隊!~豊中駅編~	とよなか国際交流センター	19人	10人
6月9日(日) 13:00~16:00		amayadori	16人	9人
6月23日(日) 13:00~16:00		とよなか国際交流センター	14人	8人
3月9日(日) 13:00~16:00	地元を極め隊!~庄内駅編~	庄内コラボセンター	14人	3人
3月23日(日) 13:00~16:00		Café☆BOND	12人	2人
合計	5回		75人	32人

※参加者数はゲストや協力団体の関係者を含む

※庄内駅編は、もともと11月24日、12月8日、12月22日(いずれも日曜)の3回連続で参加者を募集したが、申込者が1人もいなかったため、3月にあらためて企画・実施した



⑫ぴったんこ隊

小学1年生～4年生を対象に、世界や地域の環境を考えることをテーマとした、参加・体験型の連続講座を実施しました。講座は大阪大学環境サークル GECS が主体となってプログラムを実施し、施設は広報や参加者、見学先などとの調整を担います。また、講座の開催を通じて、大学生の環境活動の場を提供し、助言などを通して大学生の成長を支援します。

2024年度は、夏休みと春休みにそれぞれ3回の連続講座として開催するとともに、過去の参加者を対象に同窓会企画を実施しました。

日時	テーマ	内容	場所	参加者数
8月10日(土) 14:00～16:00	災害	災害ってなあに？いろいろな災害と私たちの暮らし	環境交流センター	26人
8月11日(祝) 14:00～16:00		災害に強い家を作ろう！	環境交流センター	24人
8月12日(祝) 14:00～16:00		防災は日常から	環境交流センター	31人
2月16日(日) 14:00～16:00		ぴったんこ隊 mini 同窓会	環境交流センター	24人
3月28日(金) 14:00～16:00	森林	森林ってなぜ大切なんだろう？	環境交流センター	33人
3月29日(土) 13:30～16:00		豊中の森へ行ってみよう！	旧千里少年文化館 島熊山緑地	37人
3月30日(日) 14:00～16:00		森林を守るためには	環境交流センター	31人
合計		7回		206人

※参加者数は大学生のスタッフなどを含む（見学の保護者は含まない）

※小学生の参加登録者数は8月が10人、2月（同窓会）が12人、3月が18人

（いずれも当日の欠席等を含む）



⑬ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り

小学生とその保護者を対象にした参加・体験型の連続講座で、ジャガイモの植え付け・手入れ・収穫を体験し、収穫したジャガイモを使って無添加のコロッケ作りを行いました。コロッケ作りは、当団体の会員で、2021 年度に豊中エコ市民賞を受賞したコロッケの専門メーカー、合同食品（株）の協力を得て、同社のキッチンスタジオにて実施し、この事業への参加を通して、食の安全安心と地産地消への理解を深める機会としました。

【じゃがいも栽培とコロッケ作り体験】

日時	内容	場所	参加者数
8月24日（土） 10:00～11:30	種芋植付け体験	緑と食品のリサイクルプラザ	19人
9月28日（土） 10:00～11:30	とよびー製造見学と畑の手入れ	緑と食品のリサイクルプラザ	16人
11月30日（土） 10:00～13:30	じゃがいも収穫とコロッケ作り体験	緑と食品のリサイクルプラザ～合同食品	26人
合計	3回		61人

※当団体の花と緑のネットワークが実施・協力

※参加者数は花と緑のネットワークのメンバー、合同食品の関係者などを含む

※参加登録者数は親子8組17人



⑭能勢町での里山体験イベント

第3期では、豊中市内の子ども、または親子を対象とし、豊中市が森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結した能勢町での里山体験を実施します。

2024 年度は豊中市青少年野外活動センターわっぱる（能勢町）を活用し、わっぱるの指定管理者である豊中市青少年野外活動協会と連携した小学生対象の日帰り企画を開催しました。また、小学生の引率や対応は、大阪大学環境サークル GECS に協力を得ました。

日時	内容	場所	参加者数
12月14日（土） 8:45～17:30	わっぱるの森で自然体験	青少年野外活動センター わっぱる	45人

※参加者数は大学生を含む

※小学生の当日参加者は24人



⑮能勢産材を使った物品の展示・販売

森林環境保全に関する協定締結自治体との協定に基づく、木材利用の促進を図っていきます。豊中市が協定締結自治体の能勢産材であるテーブルやおもちゃ等を施設内に順次導入しているため、2024年度は施設の来館者に木材製品をPRする掲示を行いました。

また、すでに施設内に導入済みの能勢産材のテーブル等について、センターの利用者に能勢産材で作られていることを知ってもらうため、当団体で制作をした能勢の森林組合に持ち込み、「能勢材木」の印字に協力いただきました。



⑯ちゃんぷる屋台村

第1～2期では、ESDセミナーを連続講座として毎年度開催していましたが、そのうち3回は「ちゃんぷる屋台村」と題した取組みを、すてっぷホール等で開催しました。ちゃんぷる屋台村は、豊中市の「ESD リソースセンターWEB」に掲載された団体や、豊中市の市民公益活動団体に登録する団体に呼びかけ、多様な出展者と多様な来館者で織りなす活動の発信と参加者交流のイベントです。

当時は出展者や参加者などからも好評であり、また、ESD や SDGs を気軽に知ってもらえる機会になることから、ESD とよなか連絡会議に参加する団体・行政部局とも連携し、2024年度は5年ぶりに開催しました。

日時	内容	場所	参加者数	マチカネポイント付与
9月7日(土) 14:00～15:00	ちゃんぷる屋台村出展者説明会	環境交流センター	15人	—
9月28日(土) 11:00～15:00	食べて、学んで、体験できるちゃんぷる屋台村	とよなか男女共同参画推進センター	434人	89人

※参加者数は当団体の会員や出店者、市職員などを含む

※説明会の参加者のうち8人はオンライン参加



<成果や工夫したこと>

- ・⑧暮らしやモノを考える講座のうち、みどりのカーテンでは、講座当日に大雨警報が発令されたため、開催を中止しました。当日に参加者へ配布を予定していたゴーヤのポット苗について、参加申込者のうち希望する方に対して、後日にセンターで配布を行ったところ、ほとんどの参加申込者がポット苗を取りに来られました。
- ・⑪SDGs をテーマとした連続講座のうち、5～6月の「地元を極め隊！～豊中駅編～」では、より良いプログラムになるように、1回あたりの開催時間、プログラムの順序、参加者へのレクチャーなどを見直しました。また、マチカネポイント付与対象の行事として、マチカネポイントアプリにも募集を掲載したところ、アプリを見ての申込みが多く、これまでに環境交流センターを利用したことがない参加者を多く得ることができました。参加者アンケートから、参加者のほとんどが満足しており、「自分で3回豊中駅周辺を歩くよりも、ずっとたくさんの、濃い情報を得られた」「色々なバックグラウンドの人と知っていく発見していくという行為そのものもとても楽しかった」などの感想が寄せられました。
- ・⑫SDGs をテーマとした連続講座のうち、「地元を極め隊！～庄内駅編～」では、もともと11～12月に企画・募集していましたが、申込者がいなかったため、内容を見直し、3月に2回連続であらためて実施しました。回数や参加者が変わっても、参加者アンケートから参加者の満足度が高かったことがわかりました。
- ・⑬ぴったんこ隊では、2023年度はいずれも参加者が少なく、特にチラシの効果がほとんどないのが課題でした。2024年度は、8月の開催時にカラーのチラシに変更して従来と同じ小学校に配布し、3月の開催時にカラーのチラシを市内の全小学校へ配布するというステップを踏んだところ、3月は定員を超える応募を得ることができました。なお、保護者向けのアンケートからは、いずれも行事に対して好意的な意見が多く、「親ではなく、学校や塾の先生でもない、大学生のお兄さんお姉さん達から学ぶという機会が大変貴重である」といった感想が寄せられました。
- ・⑭ちゃんぶる屋台村では、約5年ぶり4回目の開催でしたが、これまでと同様に、ESD とよなか連絡会議の協力を得て実施しました。会場は、とよなか男女共同参画推進財団の協賛を得て、とよなか男女共同参画推進センターを借り、とよなか国際交流センターの国際交流フェスタと同時開催しました。また、とよなかESDネットワークの協力を得て、過去にESDリソースセンターWEBに情報を掲載していた団体や、豊中市の市民公益活動団体情報に登録する団体に出展を呼びかけるとともに、ユネスコの活動に関するパネル展示なども行いました。こうした連携も含めて、当日はこれまでで最も多い参加人数となり、より広がりのある行事にすることができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・⑥身近な生き物調査では、自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然

調査を実施していますが、2024年度は日頃から環境活動をしていない市民の参加が少ない状況でした。今後は、調査テーマの選定や広報手段を検討しながら、より多くの市民に参加してもらうことが考えられます。

- ・⑨アップサイクル体験講座では、2024年度は外部の講師の確保などが課題となり、職員が講師をした1回の実施に留まりました。今後は、内容に沿った講師を確保し、新たな講座の実施が考えられます。
- ・⑫ぴったんこ隊、⑭能勢町での里山体験イベントでは、これまでも開催後に保護者向けのアンケート（オンラインで回答）を実施していますが、回答率が非常に低い状況です。今後は、アンケートの設問も含めて、より多くの回答が得られる方法を検討していくことが考えられます。

(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供

地球環境の保全等を推進するため、市民・団体・事業者に施設貸出を行うとともに、環境活動を支援する取り組みを行いました。

①施設でのイベント掲示板の設置

施設を利用して市民や団体が実施する環境イベント等について、チラシ等を貼ることができる専用の掲示板を設置して、来館者へのPRを促進しました。



②コピー、大型プリンター等の利用

コピー、大型プリンター、印刷機の利用を有料で提供しました。紙折り機の利用は無料で、2023年6月半ばから再開しました。コピーは、打合せや貸室の利便性向上を主たる目的とし、大型プリンターや印刷機、紙折り機は、環境活動のサポートはもとより、地域の多様な取組みに利用することができるため、施設への来館のきっかけとしても活用しました。

2024年度は、2023年度と比べて、大型プリンターの利用は同程度でしたが、コピーと印刷機の利用が増加しました（コピー75件→95件、大型プリンター43件→42件、印刷機32件→40件）。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
コピー	4	7	8	7	10	9	5	10	4	4	14	13	95件
大型プリンター	1	6	3	2	2	2	5	6	3	8	0	4	42件
印刷機	5	4	3	2	2	2	3	2	3	5	3	6	40件

※各月の数字は利用件数

※紙折り機は無料のため、利用件数をカウントしていない



③打合せなどに伴う物品の貸出し

ロビーや会議室で打合せや作業を行う際、円滑に進めることができるように、関連する物品などを提供しました。

- ・ 裁断機
- ・ ラミネーター（ラミネートフィルムは希望者に有料）
- ・ 貸傘
- ・ リュースカップ（会議室の利用時など）



(5) その他

①回収拠点

リユース・リサイクルのための回収拠点として、以下の物品を回収しました。なお、ベルマークは南桜塚小学校 PTA、傘はそね 21 の会と連携しています。

回収品	対象	対応
ペットボトル	主に他へ提供する物品	豊中市の委託先が週 2 回程度回収
インクカートリッジ		豊中市のインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして実施 10月23日(木)、1月30日(木)に各1箱を回収先へ送付
小型家電		豊中市が2週間に1回程度回収
蛍光灯・電池類		豊中市が2週間に1回程度回収
ベルマーク		回収したベルマークを地域へ提供 5月10日(金)に南桜塚小 PTA へ提供
傘	主にセンターで活用する物品	貸し傘用として利用 12月3日(火)にそね 21 の会へ提供



○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、事業者と連携して、事業者で余ったカレンダーの無料配布を行いました。

期間	内容	提供
1月28日(火)～ 30日(木)	カレンダーの無料配布 約70点	ネットトヨタニューリー北大阪

4. 施設の利用状況

センターの2024年度の利用者数（センターの来館者数＋センター外での行事等の参加者数＋オンラインでの行事等の参加者数）は24,044人で、確保すべきサービスレベルの17,000人を上回りました。内訳は、来館者数が17,973人で、行事等の参加者数が館外とWEBをあわせて6,071人でした。2023年度の利用者数は17,520人、来館者数は16,540人、行事等の参加者数は980人であったため、利用者数が6,524人、来館者数が1,433人、行事等の参加者数が5,091人増加しました。特に、子ども服リユースの取組みにより、行事等の参加者数が5倍以上の増加となりました。

2024年度の稼働率は62.6%で、2023年度の稼働率61.5%から減少したものの、引き続き高い稼働率を維持しています。内訳をみると、会議室1（68.6%→68.7%）・会議室2（52.8%→52.4%）・展示スペース（63.1%→66.8%）となっており、傾向に大きな違いはありませんでした。

2024年度の会議室の利用件数は452件で、2023年度の444件から微増しました。しかし、2022年度の480件よりは下回っています。

①利用者数（来館者数・館外及びWEB行事等の参加者数）

	来館者数	イベント参加人数		合計	(参考) 昨年度
		館外	WEB		
4月	1,202人	2,228人	0人	3,430人	1,240人
5月	1,517人	45人	0人	1,562人	1,344人
6月	1,697人	49人	0人	1,746人	2,134人
7月	1,451人	596人	0人	2,047人	1,294人
8月	1,724人	575人	0人	2,299人	1,641人
9月	1,266人	728人	8人	2,002人	1,285人
10月	1,567人	737人	0人	2,304人	1,779人
11月	1,342人	378人	0人	1,720人	1,335人
12月	1,588人	218人	0人	1,806人	1,439人
1月	1,393人	131人	0人	1,524人	1,180人
2月	1,530人	127人	0人	1,657人	1,523人
3月	1,696人	251人	0人	1,947人	1,326人
年度通算	17,973人	6,063人	8人	24,044人	17,520人

②来館者数

	一般	会議室等利用		合計	(参考) 昨年度
		環境目的	環境目的以外		
4月	800人	342人	60人	1,202人	1,150人
5月	1,067人	431人	19人	1,517人	1,324人
6月	1,053人	644人	0人	1,697人	2,106人
7月	1,033人	403人	15人	1,451人	1,199人
8月	1,090人	614人	20人	1,724人	1,599人
9月	898人	362人	6人	1,266人	1,141人
10月	997人	467人	103人	1,567人	1,579人
11月	908人	407人	27人	1,342人	1,291人
12月	907人	667人	14人	1,588人	1,384人
1月	1,001人	286人	106人	1,393人	1,136人
2月	1,032人	481人	17人	1,530人	1,356人
3月	1,040人	649人	7人	1,696人	1,275人
年度通算	11,826人	5,753人	394人	17,973人	16,540人

③館外及びWEB行事等の参加者数

事業名等	区分	人数	備考
不用品交換コミュニティボードの運営	館外	23人	年間（センター外での実施分のみ）
自然工作	館外	10人	1回（センター外での実施分のみ）
子ども服の回収・配布（イベント）	館外	4,789人	12回（他と重複していない人数分、 コープ回収分の7人を含む）
出張回収コーナー	館外	45人	1回（他と重複していない人数分）
地域イベント等での施設PR	館外	160人	27回
自然観察会	館外	130人	4回
自然学習講座	館外	48人	3回
自然ふしぎ発見クラブ	館外	198人	6回
自然環境の保全活動	館外	8人	1回（他と重複していない人数分）
SDGsをテーマとした連続講座	館外	75人	5回
びったんこ隊	館外	37人	1回（センター外での実施分のみ）
ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り	館外	61人	3回
能勢町での里山体験イベント	館外	45人	1回
ちゃんぷる屋台村	WEB	8人	1回（出店者説明会）
	館外	434人	1回
合計	館外	6,063人	
	WEB	8人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

④貸室の稼働率

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	(参考) 昨年度
4月	60.0%	44.0%	24.0%	42.7%	38.5%
5月	66.7%	44.4%	100.0%	70.4%	60.3%
6月	61.5%	69.2%	96.2%	75.6%	78.2%
7月	69.2%	50.0%	100.0%	73.1%	62.8%
8月	70.4%	29.6%	88.9%	63.0%	59.3%
9月	56.0%	52.0%	88.0%	65.3%	62.8%
10月	74.1%	59.3%	70.4%	67.9%	61.5%
11月	88.5%	42.3%	11.5%	47.4%	69.2%
12月	70.8%	79.2%	20.8%	56.9%	50.0%
1月	66.7%	41.7%	66.7%	58.3%	72.2%
2月	62.5%	66.7%	100.0%	76.4%	69.3%
3月	76.9%	53.8%	30.8%	53.8%	54.3%
年度通算	68.7%	52.4%	66.8%	62.6%	61.5%

⑤会議室等の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	30	38	39	35	37	39	49	37	39	34	33	42	452件
貸室	30	38	39	35	37	39	49	37	39	34	33	42	452件
指定	9	13	13	15	20	18	17	8	16	17	15	21	182件
自主	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4件
環境	15	23	26	19	15	19	27	26	20	12	16	20	238件
環境外	5	1	0	1	2	1	5	3	2	5	2	1	28件
備品	5	9	13	8	15	10	15	10	11	8	10	15	129件
指定	1	2	3	4	6	3	3	1	3	4	3	7	40件
自主	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4件
環境	3	6	10	3	7	5	9	7	5	3	6	7	71件
環境外	0	0	0	1	2	1	3	2	2	1	1	1	14件

⑥会議室等の収入実績

月	合計		現金		クレジットカード		庁内振替	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
4月	6	10,500	4	6,900	2	3,600	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	2,800	1	2,800	0	0	0	0
7月	2	9,200	2	9,200	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	3	16,600	3	16,600	0	0	0	0
10月	6	10,500	4	6,000	1	900	1	3,600
11月	2	2,300	2	2,300	0	0	0	0
12月	4	12,200	4	12,200	0	0	0	0
1月	5	9,300	3	5,200	1	2,900	1	1,200
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	2,800	1	2,800	0	0	0	0
合計	30	76,200	24	64,000	4	7,400	2	4,800

※業務報告書に記載の受付時の実績のため、納付一覧の内容等とは異なる

※2024年度は還付請求がなかった

5. 管理運営業務に係る経費の収支状況

2024年度 豊中市立環境交流センター指定管理業務 収支決算書

2024年4月1日～2025年3月31日

(単位:円)

収入						
項目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
指定管理委託料	21,505,000					
事業収入	351,419	44,400	0	155,600	0	151,419
収入合計	21,856,419					
支出						
科目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
人件費						
賃金手当	12,792,877					
通勤交通費	415,410					
事務局補助交通費	26,000					
法定福利費	2,109,850					
退職金共済制度掛金	402,000					
福利厚生費	14,210					
職員研修参加費	5,000					
賃金等振込手数料	28,325					
人件費計	15,793,672					
事業費						
外注費	1,425,934	73,700	0	0	0	1,352,234
備品費	0	0	0	0	0	0
図書費	30,008	0	30,008	0	0	0
印刷費	473,454	95,090	2,905	175,445	615	199,399
通信運搬費	439,101	77,191	0	24,335	3,200	334,375
消耗品費	577,339	239,239	1,237	93,876	5,000	237,987
旅費交通費	472,029	203,649	400	265,280	2,700	0
諸謝金	672,050	66,000	0	606,050	0	0
保険料	44,065	17,100	0	21,510	0	5,455
賃借料	376,609	50,000	0	35,400	0	291,209
光熱水費	1,082,011	0	0	0	0	1,082,011
租税公課	800	0	0	0	0	800
雑費	63,199	13,098	275	43,721	0	6,105
事業費計	5,656,599	835,067	34,825	1,265,617	11,515	3,509,575
支出小計	21,450,271					
消費税及び地方消費税	993,474					
支出合計	22,443,745					
収支差額	△587,326					

(参考) 施設管理の費用内訳

内容	科目	金額	備考
電話代	通信運搬費	130,064	
阪急緊急用専用回線使用料	通信運搬費	33,355	
インターネット利用料	通信運搬費	85,738	プロバイダ、ドメイン
郵便代	通信運搬費	738	
wifi 利用料	通信運搬費	84,480	
リース代	賃借料	291,209	印刷機、紙折機、複合機（再リース） 大型プリンター（再リース）
コピー代	印刷費	199,399	
消耗品	消耗品費	237,987	
修繕費用	外注費	201,300	会議室フロアコンセント、巾木修繕等
電気代	光熱水費	1,055,994	
水道代	光熱水費	26,017	
保険	保険代	5,455	賠償責任保険
印紙代等	租税公課	800	印紙代
清掃委託	外注費	412,658	
ごみ処理委託	外注費	18,876	
機械警備委託	外注費	217,800	
消防用設備保守点検	外注費	66,000	
空調設備保守点検	外注費	319,000	
自動扉保守点検	外注費	116,600	
振込手数料（外注費他）	雑費	6,105	
合計		3,509,575	